

# 飯南

## いいなん

- 平成21年度 町の総予算と一般会計予算
- 一般質問
- 常任委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

**飯南町議会** 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第17号

平成21年4月20日



### 共に暮らす者として

最近の経済不況に伴って、食糧自給率の問題が俄にあちこちで聞こえるようになりました。地産地消や自産自消という言葉も次から次へと新しい農業政策のように出てきては「農は国の根幹だ」と百家争鳴の議論が続いています。ここ花栗地区も今年の雪害でハウス施設が被害を受け、農家の人が黙々と復旧作業をされていました。支援が必要な天災なのです。こうした実態をつぶさに調査し、町の議会は政府の機関に対応を求める動きをしています。

3月定例会は、3月9日から3月24日までの16日間の日程で開きました。

**3月定例会で可決された  
主な議案は次のとおりです**

**条例関係** 飯南町食と農の町民条例の制定など十件

**補正予算** 平成二十一年度飯南町一般会計補正予算（第九号）など七件

**予算** 平成二十一年度飯南町一般会計予算など九件

**その他** 公の施設（上赤名介護予防拠点施設）の指定管理者の指定など十四件

平成21年度 飯南町の総予算は

**92億9千6百94万円**

**一般会計予算は  
64億8,698万円**

各会計	予算総額
一般会計	6,486,980千円
特別会計	
国民健康保健事業	784,245千円
老人保健事業	6,400千円
後期高齢者医療事業	156,951千円
介護保険サービス事業	25,673千円
簡易水道事業	315,451千円
下水道事業	528,654千円
住宅新築資金等貸付事業	1,250千円
飯南町病院事業	991,338千円
合計	9,296,942千円

## 4月より引き続き議員報酬を減額

今年度も定例議会及び臨時会に係る費用弁償を支給しないこととしました。

	現行	改定
町長	730,000円	584,000円
副町長	620,000円	527,000円
教育長	560,000円	476,000円

	現行	改定
議長	298,000円	268,000円
副議長	246,000円	221,000円
委員長	215,000円	195,000円
議員	205,000円	185,000円

町3役と議会議員に対する減額支給が4月より引き続き実施されます。

### 請願

（請願者）

簸川郡斐川町中洲九九一二年金者組合島根県本部中部支部

支部長 足立清次  
紹介議員 伊藤好晴

（内容）

消費税増税に反対し、社会保障の充実を求める請願

（審査委員会）

総務厚生常任委員会

（審査結果）

継続審査

### 陳情

（陳情者）

飯南町八神四六  
飯南町建設業協会

会長 長渡部 國雄  
外十一名

（内容）

工事発注に関する陳情

（審査委員会）

教育経済常任委員会

（審査結果）

趣旨採択

**Q 大都市で町のPRを積極的に取り組む**



難波 伸一郎議員

国勢調査を前にして、人口増を図るため、福岡・広島・大阪・名古屋・東京などで「飯南町24時間セーラスマン」を任命し、くちコミで飯南町の宣伝を行い、U・I・ターンを増やし、臨時職員並みの給料を出すことで地方自治体による雇用の創出をすべきでは。

山崎 英樹町長

来年の10月に国勢調査が実施され、人口が本町の地方交付税、財政に大きく影響します。

現在「さとやまにあ」のメールマガジン配信の皆様、に本町PR活動もお願いし、「地域資源活用全国展開プロジェクト事業」では、広島市在住の方に本町の森林セラピーの宣伝員として情報を提供してもらっています。



三日市JA跡地へ定住者用地(8世帯)現場視察



**3月定例会  
町政を問う  
一般質問**

**Q 携帯電話の不感地域解消を  
A 引き続き要望**

永井 章議員

平成20年度から平成21年度にかけ、谷地区、小田真木地区、都加賀地区の3地区が不感地域解消事業に採択されました。

残る八神才谷地区と下来島川尻地区を平成22年度の国庫補助事業採択に努力すべきでは。

山崎 英樹町長

通信事業者から採算性等の面で、今すぐに実施するのは困難であるとの回答を得ており、補助事業についても通信事業者が実施するとの確約がない限り採択されません。

不感地域解消のため、補助事業の要望は引き続き行います。



携帯電話が利用できない八神才谷地区

**Q 遊休施設活用で定住者募集を  
A 具体的ニーズがあれば検討**

難波議員

古くて懐かしい外観をもつ遊休施設にインターネット環境を整え、ネット販売をしている人に賃貸し、定住者を募るべきでは。

山崎町長

近隣町では、空き店舗を活用し、都市から若者が定住して書籍のネット販売を行っております。本町の新年度予算では、インターネット通信回線の速度アップに対応した更新整備も計画しており、遊休施設の利用法の一つとして検討します。

**Q 役場の土曜サービスを  
A 現在の制度で運営**

難波議員

一部の職員が土曜出勤して住民の利便性を図り、月曜日からの仕事の準備もし、住民サービスの向上を期すべきでは。

山崎町長

職員の休日は、長い間にできた制度であり、制度の中で、今後さらに住民福祉の向上に努めます。



来島基幹集落センター

**Q 地区振興センターの設置を  
A 公民館と連携したシステムで**

安部 朋次議員

飯南町合併協議会での「新町建設計画」で、頓原・志々・赤名・来島の4地区に地区振興センターを設置し、地区単位で行政業務を行うとともに、全体をまとめる地区振興センターを設置するとなっています。

山崎 英樹町長

新町の町づくりの基本方針の一つとして、4地区に地区センターを設置し、独自性を生かした施策、事業展開を実施すると位置づけています。

行政機関としての支所、社会教育の拠点としての公民館などが垣根を越えて、協働で地域づくりや地域運営を目指す組織としての地区センター機能を構築する必要がありますと考えています。

21年度に計画している公民館と連携した人材育成塾や地域づくりの参画を促す事業を重ねながら早期に協働によるシステムを築きます。

総合振興センターは、行政改革推進委員会ですら専門家の意見を聞き検討します。

### Q 保健分野の充実を

### A 保健福祉活動をさらに充実

伊藤 好晴議員

平成20年の健康診査の受診率は47・2%、特定健診の受診率は38%と低い数値であるが、飛躍的に高める考えは。

また、受診者のうち、要指導・要継続医療・要精密検査の方は、受診数千百27人のうち97%強です。

本町の健康管理については、健康診査や精密検査受診者の拡大、糖尿病対策、高血圧対策が課題であり、検診後の指導を強め、大病に至らないようにすることが大切です。

健康を守るためには、保健福祉課の適正な人員配置と、保健師が地域ごとの健康づくりビジョンを持って活動することが必要では。



山崎 英樹町長

受診率の向上には、目標年度と目標値を定めて進めます。

検診は、平成22年度で70%の目標を掲げ、特定健診は今年度40%、24年度65%としています。新年度から、新たに40歳の方の人間ドックを始めます。

受診された方のフォローを強力に行い、早期治療に取り組み、健康検査データと国保レセプト点検により、健康維持と医療費の抑制に取り組みます。

21年度、新たに集落を単位とした健康づくりに取り組むなど、住民の皆さんの健康づくりを重要課題として推進します。

## 3月定例会 町政を問う 一般質問

### Q エコ米生産の拡大と販路獲得は

### A 研究会の答申を踏まえて

門 眞一郎議員

経済危機の中で、米は産地間競争や輸入品との差別化など、一層の経費節減が重要です。

「売れる米づくり研究会」は、気候条件に適した高食味エコ米の生産方法を「飯南版奥出雲千石米」としてまとめました。

エコ米生産拡大によるブランドの確立は急務です。普及への工程と顧客獲得の手段は。



山崎 英樹町長

「売れる米づくり研究会」の答申を受け、21年産に向けて標準及び低コスト用の栽培暦、生産工程管理簿を作成しました。

生産拡大推進のため、ブランド化宣言、栽培マニュアルの整備、ライスセンター機能の整備、エコ米生産関係者の組織化等が必要です。

「エコ米生産協議会」を組織し、安定生産、品質維持のための土壌分析や食味分析の実施、エコ米栽培指導等、ブランドの確立に取り組みます。

### Q 適正な介護保険運用を

### A 必要ならば地方の声を届ける

伊藤議員

介護保険制度は、利用が増えたり労働条件を改善すれば、低所得者まで保険料や利用料が連動して値上げされる矛盾を抱え、制度を利用できない低所得者も多く、また介護現場の労働条件の改善も急がれます。

①所得の少ない高齢者が、介護を受けられる仕組みを作るべきでは。

②広域連合の基金を取り崩して、保険料をさらに下げるべきでは。

③ケアマネージャーは、高齢者の身近な相談相手として、中立・公正な活動ができるよう、自治体の支援が必要では。

④介護認定の見直しは、現状をきちんと反映された認定とすべきでは。

山崎町長

①減免措置、社会福祉法人の低所得者の利用者負担

飯南町保健福祉センター



軽減等、被保険者の実態や県内の状況を調査し、検討します。

②保険料の負担は所得に応じた区分に改正し、基金から2億5千万円取り崩して保険料に充当し、4千200円に抑えています。

③ケアマネージャーへの支援、育成については、実態を調査して支援策の検討をします。

④介護認定方式の変更は、全国的に不均一な認定実態の解消をするため、調査項目を変更したものです。大きな変更が生じてはならない

いと考えています。介護保険全体に問題が生じれば、地方の声として実態を届けます。

### 現状に即した判定

空岡保健福祉課長

今回の見直しは、調査員の主観により、全国的なばらつきが生じていることから、コンピューター判定を取り入れて審査会の判定を行います。

国の調査結果では、モデル事業よりも10%程度重度に判定される見込みです。

### Q トンネル付替えを早期に A 近隣市町と連携した地域づくりの中で

門 議員

政府は景気浮揚、雇用対策として公共事業を実施することが予想されます。

国道54号の老朽化したトンネルの付替えに向け、この機会に町民一丸となって取り組む考えは。

山崎町長

トンネル付替えは、重要課題として要望活動を行っています。

本町は、島根、広島の県境に位置しており、両県の関係市町との連携が必要であり、一層の関係強化に努め、整備要望を行います。

国の道路事業予算は非常に厳しいものがあり、尾道松江道路と国道54号の果たす役割の整理が必要です。

近隣市町と連携した地域づくりも検討し、町民の皆さんのご支援で事業採択に向けて努力します。



種まき風景



老朽化した赤名トンネル



# 3月定例会 町政を問う 一般質問



作付け準備が進む水田

**Q** 町づくり条例の制定を  
**A** 早期の制定を目指す



**長島 正一 議員**  
本町の理念である「生命地域」宣言にふさわしい町づくり施策を推進するため、町民共通のルールである「町づくり基本条例」の制定を行うべきでは。

**山崎 英樹 町長**  
まちづくりに向けての機運の成熟を進めるため「地域づくりリーダー塾」を開設し、人材育成を行い、住民自治のルールである「町づくり条例」制定を目指します。

**Q** 安心して住める農村社会の構築を  
**A** 一人ひとりが地域、農地を守る気概を

**長島 議員**  
本町は10年後、超高齢化社会を迎えます。住民が安心してこの地に暮らしていくには、長期的視点で新たな再生産構造の確立や、本来、集落が持っていた相互扶助システムの再構築が求められているのでは。

**山崎 町長**  
地域を維持、運営をするためには、農家、人に視点をおいた政策を進めます。また、人口が減少する中、定住対策に全力を注ぐとともに、農地の管理については、集落が一体になって取り組む必要があります。集落支援を行います。

**Q** ポスト過疎法への思いは  
**A** 新法制定に向け強く行動

**小野 議員**  
現行過疎法のポスト過疎法について、その見直し、またその対策、今後の町政運営に当たっての影響等の考えは。

**山崎 町長**  
島根県町村会として、過疎対策法制定の決議をし、国及び政府に要望しました。これまでの過疎対策は、産業振興、住民生活の基盤整備で一定の成果を評価できます。

財政の充実、強化とともに、新しい法律制定は本町にとってきわめて重要と考え、制定に向けて強い行動をとります。



**山崎 英樹 町長**  
選択性になれば米価の維持が難しくなる懸念があります。  
経営効率を上昇させても限界があり、町内の担い手組織の経営破綻が起きる可能性も生まれることから断固反対です。

**Q** 病院事業の将来展望は  
**A** 救急医療体制の確保に向け努力

院外薬局が4月1日より開局



**長島 議員**  
病院経営が厳しさを増し、議論がなされていますが、住民の病院に対する期待は大であります。

**山崎 町長**  
住民のかかりつけ医師の重要性や基本健診の受診率向上対策、県立病院との電子カルテのネットワーク化等への取り組みが必要では。また、高齢化が進む中、住民自ら病院を守り育てる運動が大切です。

**山崎 町長**  
住民の健康増進の施策として、生活習慣病予防対策や健診の受診率向上、保健指導の充実に向け、自治会単位での取り組みを進めます。病院については、救急医療体制の確保に努め、かかりつけ医師の推進や高次医療機関との電子カルテの導入を検討します。一方では、病院を守るためには住民の理解と協力が必要であり、お年寄りや女性の皆さんへの働きかけを行います。

**Q** 寮整備に支援を  
**A** 町の役割を踏まえて

**小野 議員**  
飯南高校の生徒寮の整備について、県立学校であっても「地域の学校」として町も支援すべきでは。

**山崎 町長**  
県立学校であるので、県が責任を持って運営していくことが基本です。県と町の役割を踏まえながら、柔軟に現実的な考え方で支援していきます。



飯南高校

# 町政を問う 一般質問



大雪による折損木(八神)



**Q** 雪害に対する支援策は  
**A** 必要な支援に込えていく

瀧尻 行雄 議員

農産物の価格が低迷している中、雪害によりパイプハウス等の農業施設に大きな被害を受け、農家は事業継続の気力を失いかねない状況です。

また、山林では幹折れ被害が多発し、土石流などの2次災害の発生が心配されます。町長は直ちに県へ要請し、県単雪害対策事業が実施の運びとなりました。町民が従来にもまして活力のある産業、まちづくりに取り組み意欲を喚起する支援策、将来展望は。

山崎 英樹 町長

現在の状況は、農業施設では自力で復旧される農家も含め41戸が整備され、高齢化などの理由により21戸の農家が縮小されます。林業では16ヘクタール余りで被害が出ており、既存の造林事業を活用して複層林施設により順次復旧し、2次災害が発生しないよう適切な森林復旧に努めます。雪害等による通行支障箇所は国、県に対し要望を行い、町道は解消に向けて対応します。

元氣を出すために必要な支援に込えていきます。



農業施設被害を調査

## 雪害支援を中央に要請

雪害について、国の支援を求めるべきと判断し、政府中央に要請活動を行いました。県選出国会議員全員と環境大臣に対し、詳しい状況報告と要請をしました。

要請の内容は、次の通りです。

- ① 農業生産施設再建整備に関する特例交付金制度の創設
- ② 農業生産施設の再建整備に関する融資制度の創設
- ③ 山林の幹折れ被害に対する生産支援
- ④ 火災、緊急車両の雪害時に対応できる地方道路整備



細田衆議院議員と青木参議院議員に手渡す



齊藤環境大臣に要望書を手渡す



竹下衆議院議員も交えた状況報告



## 教育経済常任委員会

### ■飯南町食と農の町民条例の制定

これは豊かな暮らしの根幹である食、環境などを支える農業及び農村地域の持続的発展を推進し、町民の安全で安心できる豊かな暮らしの実現に寄与するためのものです。

### ■来島小学校、雨どいを修繕

雪害により変形し、雨水があふれ出るようになり、雨天時に軒下の通行が困難となっています。児童の安全に不安があると判断したため、修繕することとしました。

### ■三日市住宅、定住を目的に新設

三日市地区の旧JA跡地に8戸の住宅を新設し、定住の促進を図ります。同時に、コミュニティ施設を設置し、飯南高校生等の迎いの待合所としても利用できるようになります。



来島小学校の雨どい被害の調査



三日市の旧JA跡地を視察

## 総務厚生常任委員会

### ■町長及び副町長、教育長の給料の支給額の条例改正

町長20%、副町長・教育長15%を21年度も引続き減額する条例改正です。その他職員の給与の支給額の特例に関する条例改正、勤務時間、休暇等に関する条例改正を可決しました。

### ■飯南町乳幼児等医療費助成条例の改正

小学校入学までの児童に行なわれていた医療助成が、中学校卒業までに拡大しました。

### ■飯南町過疎地域自立促進計画の変更

事業名その他の情報化のための施設、集落再編整備の2件が追加されました。

### ■平成21年度一般会計当初予算に意見

民生費の社会福祉協議会への負担について、保育所の今後の運営手法と民営化の具体的方向性を示すよう、審査意見を付しました。

### ■医療用画像システム等の整備費を増額補正

医療用画像システム（デジタル画像の保存や配信）や酸素濃縮装置などの整備に12,207千円の増額補正を可決しました。

このシステムにより飯南病院から他病院に紹介する場合、患者画像情報をCD-Rなどの媒体で提供できます。



交通安全に小学生もひと役

# 「飯南町に住んで」

飯南町井戸谷 荻野 英明

私は、平成12年10月に京都から来ました。

よく聞かれます。「何も無い所なのに、どうして来たの?」って。

満天の星空、澄んだ空気や美味しい野菜など、都会には無いものが飯南町にはたくさんあり、とても環境のよい所です。

最初は言葉(鳥根弁)もわからず、知人や相談出来る相手もいなかったため、暮らせるかどうか不安でしたが、産業体験先のぼたん園やりんご園の方々に親切にして頂いて、とても助かりました。

また、そういう所で働いていたので、飯南町の方々とも顔を合わす機会が多くて、道を歩いていても「あ、りんご園の人。おはよう」と、名前がわからなくても気軽に声を掛けてもらえるのがうれしかったです。

今では子供を通じて色々な人たちとの交流も増え、鳥根弁も



手つめたくない? ううん

理解し、借家の畑で美味しい野菜も作り、忙しいですが毎日とても楽しく暮らしています。

もう8年が経ちましたが、今でも満天の星を眺めると、ここに来た時の新鮮な気持ちを思い出します。

その最初に来た時の感動を忘れずに、飯南町でいつまでも楽しく暮らして行きたいと思います。

## 寄稿 飯南町への想い



家族も5人になりました



## 自治功労者表彰受賞

2月24日に開催された島根県町村議会議長会定期総会において、若林達治議員は15年以上にわたる議員活動に対し、全国町村議会議長会から表彰を受けました。

また、那須徳士輝議長が議長在職6年以上として島根県町村議会議長会から表彰を受けました。

そして、石橋宏議員、小野覚議員、難波俊司議員、伊藤好晴議員が、12年以上にわたる議員活動に対し、島根県町村議会議長会から表彰を受けました。



石橋 宏 議員



那須 徳士輝 議長



若林 達治 議員



伊藤 好晴 議員



難波 俊司 議員



小野 覚 議員

### 本田哲三議員が辞職

4月8日付をもって、一身上の都合で飯南町議会議員を辞職されました。

## 編集後記

三月議会の最終日は、待じゃパンが韓国を5-13で振り切り、世界の頂点にたち、日本中を沸かせ、スポーツの素晴らしさにあらためて感動した記念すべき日でありました。

さて、議会は9日から始まり、一般質問には8人が立ち、その内4人の議員が農業問題にふれていました。

本年一月の大雪では、パイプハウス等農業施設に大きな被害が発生し、また米価の下落、畜産の価格低迷等、本町の人口減少の要因となる恐れがあります。

長年に亘り、おき去りにされてきた田舎へも内閣がかわり、目を向けられ始めています。

報道によると、鳩山総務相は農山村の疲弊を防ぐため「都市から農村への人の流れをつくりたい」と述べ、過疎地域の活性化に力を入れる考えを示しています。

この意気込みを信じ、実現を強く願っているところです。日本経済を活性化させるためには、農業を柱に位置付けることが基本であり、「田舎はいいぞ」といえる町づくりとその時代の来ることを期待しながら...

春よ来い、早く来い。

議会広報編集委員会

石橋 宏